

あびこ社協だより 福祉の街へ



ホームページ



Instagram



社会福祉法人 我孫子市社会福祉協議会

〒270-1166 我孫子市我孫子1861

TEL : 04-7184-1539 FAX : 04-7184-9929

E-mail : postmaster@abiko-shakyo.com

https://abiko-shakyo.com

あびこしゃきょう



にじプログラム
(ボランティア体験)

▶P.6-7 に関連記事

目次

- | | | | |
|---|------------------------|---|-------------------|
| 2 | 赤い羽根共同募金運動がはじまりました | 6 | Hello てとりあ |
| 3 | 「募金百貨店プロジェクト」 ほか | 8 | 情報ひろば |
| 4 | もっと知りたい！民生委員さん ほか | | こんにちは社協です ほか |
| 5 | 地域のまど | | |



赤い羽根共同募金運動が はじまりました

令和8年10月1日～令和9年3月31日

八十周年

ありがとう。これからも一緒に。

赤い羽根共同募金運動は、今年で80回目を迎えます。

社会変化のなか、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、さまざまな地域福祉の課題解決に取り組む民間団体を応援する、「じぶんの町を良くするしくみ。」として、共同募金は役立てられています。皆さまの温かいご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

募金は我孫子市の福祉に役立てられます

我孫子市で皆さまからお寄せいただいた募金は、7割が我孫子市の地域福祉のために配分され、福祉サービスや住民活動の支援などに役立てられています。残りの3割は千葉県内の福祉活動のほか、災害時の支援にも充てられています。



募金目標額を決めて、募金活動を行います

令和8年度の目標額

6,980,000円

共同募金は寄付金が集まってから使いみちを決めるのではなく、地域の福祉課題に取り組む団体からの声(福祉ニーズ)を受け付けて、使いみちを決めてから募金を行う「計画募金」です。

そのため、必要なところへ助成支援がいきわたるよう、募金目標額を定めて、皆さまにご寄付のご協力をお願いしています。

募金の使いみち

お寄せいただいた募金は、我孫子市の高齢者、障がい児者、子ども、ボランティア活動、地区社協などの地域福祉活動を支える貴重な財源になっています。

■詳しい使いみちは、「赤い羽根データベースはねっと」でご覧いただけます



募金は皆さまのご協力で集められます

自治会を通じてご協力をいただく戸別募金のほか、市内(地区社協・アビスタ等)に設置する募金箱や街頭募金、福祉募金自動販売機など、さまざまな募金のしくみや方法があります。

■インターネット寄付

ご希望の分野を指定してご寄付いただけます。
クレジットカードやコンビニ支払い、キャリア決済など
さまざまな決済方法をご用意しています。



■「PayPay」でご寄付いただけます

キャッシュレスで手軽にご寄付いただけます。
右の二次元コードを読み込み、ご寄付先の地域の項目
で、「我孫子市」を選択することができます。



「全国ありがとうレポート」 動画公開中

中央募金会の特設サイトにて、我孫子市支会が助成する「移送サービス事業」の紹介動画が公開されています。赤い羽根共同募金が実際にどんな活動に使われているかを、映像と現場の声を通して分かりやすく紹介しています。ぜひご覧ください。



【問合せ】千葉県共同募金会我孫子市支会(市社協内)
TEL 04-7184-1539

「おいしい一皿が、地域の力に」

インドカレーハリオンが「募金百貨店プロジェクト」に参加



「募金百貨店プロジェクト」は、寄付つき商品を販売し、その売り上げの一部を赤い羽根共同募金へ寄付する企業等の取り組みです。我孫子市支会の協力企業として、我孫子市若松の飲食店「インドカレーハリオン」が新たに参加することになりました。今回は、ゼネラルマネジャーのチェトリ・ビームさんにお話を伺いました。

大好きな我孫子に恩返しを

2004年に来日し、我孫子には20年以上住んでいます。自然が豊かで子育てもしやすく、地域の皆さんの優しさに触れながら暮らしてきました。そんな大好きな我孫子の街に、何か恩返しがしたいと、ずっと考えていました。

そんな時、知り合いの社長さんから「募金百貨店プロジェクト」を紹介していただきました。おいしいカレーをお客様に食べていただくことで、売り上げの一部が地域の福祉活動に寄付される仕組みに深く共感し、参加を決めました。

実際に始めてみると、お客様からも「おいしくカレーを食べて、それが街の福祉の役にも立てるなんて嬉しいね」と



温かい言葉をいただき、私たち従業員にとっても大きな励みになっており、お客様に喜んでいただきながら、地域の力にもなれることを嬉しく感じています。

我孫子が、子どもからお年寄りまで、誰もが安心して笑顔で暮らせる温かい街であ

り続けることが私の願いです。小さな力も積み重なれば、大きな力になります。仕事を通じて、無理なく地域貢献につながるこのプロジェクトは、企業やお店だからこそできる地域への恩返しの一つだと思います。ぜひ、他の企業やお店の皆さんにも、この取り組みに参加していただきたいと願っています。大好きな我孫子の街を、これからもみんなで支えながら、一緒にさらに良い街にしていきたいと思います。



「ハリオン若松店」の売上の一部を寄付

※店舗、キッチンカー、お弁当(テイクアウト)の販売分含む

〈実施期間〉令和8年8月1日～令和9年7月31日

【企業情報】

インドカレーハリオン 所在地:我孫子市若松141-4
TEL:04-7179-0799



共同募金会

TOPICS



寄付付きグッズの頒布を行っています

ボランティア市民活動相談窓口で・と・り・あ(P.7 参照)では、赤い羽根共同募金のオリジナル寄付つきグッズをご用意しています。募金にご協力いただいた方へのお礼として、我孫子市支会オリジナルのネックストラップや、千葉県共同募金会のマスコット「びわびよ」のピンバッジなどを進呈しています。

グッズを通じて、赤い羽根共同募金へのご支援の輪を広げてみませんか？皆さまの温かいご支援・ご協力をお願いいたします。



街頭募金にご協力をお願いします！

今年も「歳末たすけあい募金」の期間中、市内のボーイスカウト・ガールスカウトの皆さんにご協力いただき、JR我孫子駅とJR天王台駅で街頭募金運動を実施します。駅前募金活動をしている姿を見かけましたら、ぜひ温かいご支援をお寄せください。よろしくお願いいたします。

【街頭募金スケジュール】

〈ボーイスカウト我孫子第2団〉

12月6日(日)12時～14時(JR我孫子駅)

〈ボーイスカウト我孫子第1団〉

12月12日(土)・13日(日)12時～17時

(JR我孫子駅・JR天王台駅)

〈ガールスカウト千葉県第45団〉

12月12日(土)11時～12時(JR我孫子駅)

歳末たすけあい



もっと知りたい！



民生委員さん 第1回

「民生委員・児童委員」と聞いて、どんな人を思い浮かべますか？

新連載「もっと知りたい！民生委員さん」では、地域で活躍する民生委員・児童委員の素顔に迫ります。第1回は、我孫子市民生委員児童委員協議会の会長に、日々の取り組みや活動への思いについて伺いました。



齋藤会長

■地域のつなぎ役として

——主な活動について教えてください。

「一番の役割は、地域の皆さんの『身近な相談相手』になることです。お話を丁寧に伺い、必要に応じて専門機関へおつなぎする『橋渡し役』を担っています。一方、子どもに関する支援については、主任児童委員が中心となって活動しています」

——我孫子市の民生委員さんはどんな風に活動されていますか？

「市内を7つのエリアに分け、それぞれの地区で活動しています。地区ごとにカラーや特色は異なりますが、どの委員も非常に真面目で熱心です。横のつながりを大切にしながら、市民のために日々活動しています」



地区ごとの定例会の様子

——委員になったきっかけとやりがいを教えてください。
「きっかけは、中学校のPTA役員をしていた時の仲間から声をかけられたことです。気付けば約10年になります。やりがいの一つは、各種証明事務などを通じてご家庭の事情に寄り添い、『相手の力になれた』と感じることです。また、活動を通じて地域の方々と顔の見える関係が築かれていくことも、民生委員を続ける励みになっています」

■一人で抱え込まずに、気軽にご相談を

——市民の皆さまへメッセージをお願いします。

「私たちの活動を知っていただくため、全戸へリーフレットを配布するなど周知を図っています。困りごとがあれば、決して一人で抱え込まないでください。『こんなことを相談していいのかな』と迷わず、気軽に声をかけていただきたいですね」

◎お住まいの地区の民生委員・児童委員が

ご不明の時は…

市役所社会福祉課 ☎ 04-7185-1111

お困りごとは
ありませんか？

民生委員・児童委員の
ご活用ください

相談内容や相談が属する地区は異なります。

お気軽にご相談ください。

我孫子市役所社会福祉課 ☎ 04-7185-1111

※ 我孫子市役所社会福祉課 民生委員児童委員協議会

成年後見のこと、 弁護士に相談してみませんか？

あびこ後見支援センターでは、今年度から我孫子市の委託を受け、「成年後見制度中核機関」を開設しました。これに伴い、ご好評いただいている「弁護士相談」を、10月から月1回→月2回に拡充します。成年後見制度についての疑問やお悩みを、弁護士にご相談いただけます。原則、お一人様1回まで無料です。どうぞお気軽にご利用ください。

〈詳しくは P.8 参照〉

みんなで楽しく学ぼう！「出張スマホ教室」

市社協の高齢者向けスマホ教室「スマcafe」では、自治会やシニアクラブ、サロンなどへ出向く「出張スマホ教室」も実施しています。先日、湖北台のおしゃべりサロン「輪」で、日頃の疑問をみんなで共有しながら楽しく学びました。座談会・講座形式など、ご希望に合わせて開催できます。「スマホをみんなで学びたい」という方は、お気軽にご相談ください。

※講座形式でテキストを使用する場合は、印刷費として1人200円をご負担いただきます。

【問合せ】市社協

生活支援コーディネーター

TEL 04-7184-1539



寄付の報告
ありがとう
の
輪

皆さまからいただいた寄付金・寄付物品は、地域福祉活動に役立てていきます。
ありがとうございました。

寄付金

一條電気工業株式会社 / 香江木蘭太極 / 慈悲の会 / 小さな森の家 我孫子つくし野店・我孫子中峠台店 / 匿名11件

寄付物品

松丸 博志 / 吉見 俊彦 / 渡辺 良房 / 匿名48件

(受付順・敬称略)

寄付いただいた物品:車いす・お米・レトルト食品・調味料・お菓子・乾麺 等

令和8年6月16日～9月15日



vol.5

市内6地区にある地区社会福祉協議会をご紹介しますコーナー「地域のまど」。
今回は、布佐地区社協の広報部会の皆さんと湖北・新木地区社協の「健康マージャン教室」を運営する委員や協力員の皆さんを取材してきました。

“ 布佐地区社協 広報部会 ”

布佐地区社協の中でも、ひととき元気に活動しているのが「広報部会」の皆さんです。現在は、10年以上のベテランから最近入ったばかりの新人まで、5人のメンバーで、年3回発行する広報紙を作っています。

この部会の一番の魅力は、なんと言ってもフットワーク



の軽さと行動力。「これだ！」という話題を見つければ、地域の福祉施設や学校などへ自分たちでどんどん足を運び、地域の「今」を直接感じることを何よりも大切にされています。

取材してきた内容は、メンバー全員で「読みやすさ」を追求し、何度も練り直しを行うそう。ベテランも新人も関係なく、「ここはこうしたら、もっと読みやすくなるね！」と、和気あいあいと意見を出し合う、メンバー同士の風通しの良さも紙面づくりに大いに役立っているようでした。

これからの目標は、「配られたら、絶対に読みたくなる！」と思ってもらえるような広報紙を作ること。地域を歩き、声を聞き、布佐地区の「今」を届ける広報部会の皆さんが、これからどんな紙面を届けてくれるのか楽しみです。

【問合せ】布佐地区社協 TEL 04-7189-2119

“ 湖北・新木地区社協 地域ささえあい活動部 「健康マージャン教室」 ”

湖北・新木地区社協で、20年近くにわたり地域の皆さんに親しまれている「健康マージャン教室」。教室を温かく支えているのは、ボランティアとして活動する「地域ささえあい活動部」の委員や協力員の皆さんです。

毎週金曜日に開かれる教室では、初心者から点数計算を学びたい方まで、それぞれのレベルに合わせて楽しく参加

できる工夫がされていて、お手製のマニュアルを用意するなど、実践を交えながら、一人ひとりに寄り添って丁寧に教えています。



何より大切にしているのは、「参加する皆さんに心から楽しんでもらうこと」。初心者には「決して急かさない」というルールを徹底しているそうです。そこには、「マージャンを通じて地域に顔なじみをつくり、交流の輪を広げてほしい」という思いがあります。

コロナ禍でも活動の灯を消さないよう工夫を重ね、大切な“居場所”を守ってきました。ここで出会った仲間が新たなグループをつくり、交流を深めることもあるそう。マージャンをきっかけに生まれる出会いが、地域のつながりへと広がっています。

【問合せ】湖北・新木地区社協 TEL 04-7187-2551

Hello

てとりあ

ボランティア市民活動部 事務局

Vol.6



ボランティア 体験

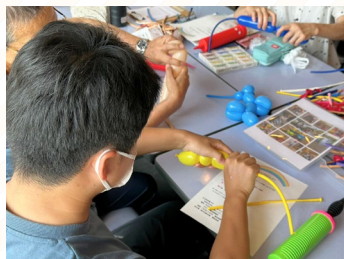


カラフルバルーンの会

「カラフルバルーンの会」は、イベントや保育園・幼稚園、福祉施設などでバルーンアートを作る活動をしています。今回のプログラムでは、「こどもサマーフェスタ」でバルーンアートを製作して参加者にプレゼントしたほか、会場の飾りつけを手伝いました。参加者からは、「子どもたちとのふれあいがとても楽しかったです」と、楽しみながら活動した様子がうかがえました。



▲事前の練習日に、バルーンアートの作り方を学びました



あびこカップまつり

8月29日に開催された「あびこカップまつり」では、38名の学生が参加し、ワークショップの手伝いなど、運営をサポートしました。参加者からは、「これまで何気なく参加していたお祭りの裏側を体験し、多くの人の協力によって成り立っていることを知りました」「さまざまな年代の方と関わることで、自分の視野を広げることができました」といった声が聞かれました。



NPO 法人 水辺の環境を守る会

手賀沼公園で行われた特定外来植物の防除には、37名が参加しました。参加者からは、「慣れ親しんだ手賀沼が、外来植物によって生態系を脅かされていることを知り、驚きました」「外来植物を取り除くことで、我孫子市に貢献できたという達成感がありました」といった声が聞かれ、活動を通して手賀沼の環境について知る機会となりました。



手賀沼公園石段にて作業を行いました ▶



コホミン子どもサポート



「コホミン子どもサポート」では、子ども食堂での配膳や洗い物などを手伝いました。参加者からは、「子どもを中心に、さまざまな世代の方と関わることができました」「最初は緊張しましたが、初めてのボランティア参加で、楽しかったです」といった声が

聞かれ、世代を超えた交流や、ボランティア活動の楽しさを感じる機会となりました。



▲ワゴンで慎重に食事を運びました

船戸の森の会

船戸の森の保全活動を行う「船戸の森の会」では、森の整備や草取り、枝拾いなどを手伝いました。参加者からは、「森と地域の人との関わりや、森を守ろうとしている人たちの思いを知ることができました。その一員として活動できて嬉しかったです」「作業について丁寧に教えていただき、学ぶことが多かったです」といった声が聞かれ、森を守る活動への理解を深める機会となりました。



福祉体験



避難所運営ゲーム HUG 体験

避難所での生活や運営を疑似体験する、カードを使った図上訓練ゲーム「HUG」。2つのグループに分かれ、災害時に避難所へやってくるさまざまな人をどのように受け入れ、配置し、対応するかを話し合いながら、災害と福祉について学びました。参加者からは、「想像していた以上に、避難所ではさまざまな出来事が起きることを知りました」「運営する人のことを考えると、自分もできることがあれば手伝いたいと思いました」といった声が聞かれ、新たな気づきを得る機会となりました。

手話体験

小学生の親子を対象に
手話の体験を行いました ▶



ボランティア・市民活動に関する情報を
ホームページやSNSでお届けしています



ホームページ



LINE公式



Facebook



Instagram

【問合せ】ボランティア市民活動相談窓口 て・と・り・あ
TEL 04-7185-5233
E-mail avc@abiko-shakyo.com

情報ひろば

シニアの方々の交流企画 「体験したい我孫子の至宝 座学と散策」

第8話「我孫子文学散歩」

開催日:12月8日(火)

時間:12時45分(集合)～16時15分頃

集合場所:天王台北近隣センター2階実習室

内容:我孫子に暮らした文化人についての座学と記念館見学

講師:我孫子市教育委員会 文化・スポーツ課担当員

対象:市内在住65歳以上の方

定員:20名(定員を超えた場合は抽選)

参加費:500円(入館料)

【問合せ・申込】天王台地区社協

TEL 04-7183-9009

第4回大人も子どもも 「みんな de ディスコ!」

～懐かしい曲にあわせてココロもカラダもノリノリでいこう♪～

開催日:12月20日(日)

時間:13時30分～15時

場所:近隣センターこもれび 多目的ホール

内容:簡単なステップで、Jポップや懐かしのディスコ曲に合わせて一緒に踊る

講師:DJ. ZAKKY、福田南(ダンスインストラクター)

参加費:無料

対象:市内在住の方

持ち物:飲料・タオル・滑りにくい上履き

定員:40名(要予約・先着順)

【問合せ・申込】天王台地区社協

TEL 04-7183-9009

第33回「福祉フェスティバル」

開催日:令和9年1月30日(土)

時間:12時～16時30分(予定)

場所:けやきプラザ2階 ふれあいホール

内容:白山中学校吹奏楽・歌・演奏・舞踏ほか、特別ゲストあり

入場料:300円(市内福祉施設製品のプレゼントあり)

チケット販売:我孫子南地区社協および福祉ショップ&軽喫茶ぽぽら

前売り券(12月19日～)・当日券あり

【問合せ】我孫子南地区社協

TEL 04-7185-5117

成年後見制度に関する 弁護士相談

相談日:毎月第2木曜・第4金曜

※月によって異なる場合あり

時間:13時30分～16時30分

※前日までに要予約、1日3組(先着順、相談は1時間以内)

場所:市社協 会議室



【問合せ・申込】市社協

TEL 04-7184-1539

✉ support@abiko-shakyo.com

集いの場 コミュニティカフェ

スマcafe(スマホ教室)

開催日:毎月 第1・2・3・4

火曜

対象:60歳以上の方

場所・時間・定員・参加費:

講座ごとに異なります

※定員になり次第締切

詳しくはお問い合わせください

Caféつぼみ

～聞こえない・聞こえにくい方のおしゃべりの場～

開催日:毎月 第2火曜

場所:福祉ショップ&軽喫茶

ぽぽら(けやきプラザ1階)

時間:13時30分～15時30分

定員:30名(先着)

参加費:700円

※内容により実費負担あり

片麻痺の方のサロン lino(リノ)カフェ

開催日:偶数月 第3月曜

場所:福祉ショップ&軽喫茶

ぽぽら(けやきプラザ1階)

対象:片麻痺の方、片手が思うように動かしにくい方

定員:10名(先着)

時間・参加費:内容により異なります

【問合せ・申込】市社協 TEL 04-7184-1539 / (Caféつぼみ)FAX 04-7184-9929

こんにちは 社協です

vol.15

災害時の支え合いを考える ～HUGを体験しました～

生活支援体制整備事業の生活支援コーディネーターが、避難所運営ゲーム「HUG」を体験しました。

HUGは、避難所に次々と訪れるさまざまな事情を抱えた避難者を想定し、「どこに案内する?」「どう対応する?」などをみんなで考えながら、避難所の運営を体験するゲームです。

実際に体験してみると、限られたスペースや情報の中で判断する難しさを感じる一方、声を掛け合うことや、日頃からの地域のつながりが大切だと改めて感じました。

今回の学びを地域での活動に活かし、「もしものとき、地域でどう支え合うか」を皆さんと一緒に考えていきます。



編集後記

今回もさまざまな取材を通して、たくさんの方にお会いすることができました。中でも、布佐地区社協広報部会の皆さんには、広報を担う者として共感することも多く、たくさんの刺激をいただきました。皆さんの姿を励みに、これからも楽しみながら取材を続けていきたいと思っています。

あびこ社協だより 広告を掲載しませんか?

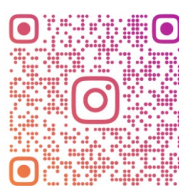
あびこ社協だより『福祉の街へ』は、毎号約21,000部を市民の皆さまへお届けしています。お店や企業のPR広告を出してみませんか?

詳しくはお問い合わせください



- ◆年4回発行
4月・7月・10月・1月
- ◆掲載料
一般:20,000円/1回
法人会員:10,000円/1回
- ◆規格(サイズ)
縦45mm×横50mm

＼情報発信中／



SHAKYO_ABIKOCITY

公式インスタグラム
フォローをお願いします!